



【校訓】

志中だよい

進取 誠実 協力

南三陸町立志津川中学校

第7号

令和6年9月20日発行

9. 1 県総合防災訓練

9月1日（日）に、松原公園、志津川中学校等を会場として「9. 1 宮城県総合防災訓練」が行われました。県は、土砂災害救助訓練や倒壊家屋救出訓練など24もの訓練を行いましたが、その中でも志津川中学校では避難所開設・運営訓練や物資輸送訓練の会場となりました。9時に地震が発生し、体育館に避難した後、役場職員の指示のもと、避難所運営訓練が始まりました。生徒たちは、どんな訓練をするのかも知らされていませんでしたが、毎年避難所運営訓練をしていることもあり、テキパキと行動していました。運営本部班、作業班、救護班、炊き出し班に分かれ、パーテーション・ベットの設営や避難者の受付、物資輸送、炊き出し、救護、土砂撤去、消火訓練等に取り組みました。その様子を見ていた県の方々や



町長、教育長、地域の方々からもその活躍する姿にたくさん賛辞をいただきました。役場の方々からも大人よりも本当に頼りになるとお褒めの言葉をいただきました。普段から真面目に取り組むその姿勢が発揮され、それが高く評価されたことを本当にうれしく思います。

全国少年消防クラブ交流大会 準優勝

9月14、15日（土、日）に、グリーンアリーナ神戸を会場に全国少年消防クラブ交流大会が行われました。志津川中学校少年防災クラブの代表として3年生6名が参加してきました。全国から60クラブが参加し、5人でホースの筒先をバトンにしてつなぎ、ボウリングピンを倒したり水消火器で標的を倒したりと各障害をクリアしていく「クラブ対抗リレー」と、指揮者を含む5名により、コース上の障害物を越えながらホースを展張・延長し、全員でゴールを目指す「クラブ対抗障害物競走」で競い合いました。緊張感あふれる中、2つの競技ともベストパフォーマンスを発揮することができ、昨年優勝した埼玉県のクラブには及びませんでしたが、見事に準優勝を勝ち取りました。



将来に向けて 総合的な学習の時間

9月4日（水）に、2年生を対象とした大学や短大に関するワークショップを行いました。東北大学等の学生や卒業生6名に来ていただき、講義をしていただきました。現在の大学に進学を決め



た理由や高校選択の決め手、中学校時代にやっておけばよかったことなどを話していました。その後色々と質問をしていました。大学生を身近に感じる貴重な機会となつたようです。



17日（火）には、1年生を対象に、南三陸高等学校訪問を行いました。高校の先生方から南三陸高校の目指しているところや普通科と情報ビジネス科のカリキュラムについての説明がありました。その後、PC室や音楽室等で授業参観を行い、高校の授業の雰囲気を感じてきました。中学校と違い、専門的に学んだり、様々な専門教室があることを見てきたようす。今後の進路選択に生かしてほしいと思います。



同じく17日に、3年生を対象に社会人対話授業「ミライプラリー」が行われました。地域で活躍する身近な先輩である20代から30代の社会人と話をすることにより、将来を考えるきっかけや地元への興味関心を高めることを目標として取



り組みました。まちづくりや地産地消、海、観光などをテーマに5～7人のグループに分かれて対話を通じて色々なことを学んだようです。進路について考える一つのきっかけになればと思います。

